

## 公益社団法人 埼玉県理学療法士会 平成 29 年度定時総会議事録

1. 開催日時：平成 29 年 6 月 18 日（日）15：10～16：20
2. 開催場所：大宮ソニックシティ 小ホール(〒330-0854 埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-7-5)
3. 理事・監事の数及び出席理事監事の数
  - (1) 理事数 15 名、監事 2 名
  - (2) 出席理事数 15 名、出席監事数 2 名
4. 司会 水田宗達
5. 定足数報告（会員数及び出席会員数）
  - (1) 会員総数：4,310 名（平成 29 年 6 月 1 日現在）
  - (2) 出席会員数：3,087 名（参加：140 名、議決権行使書：2,947 名）
6. 開会の辞 望月久
7. 会長挨拶 清宮清美
8. 議決事項
  - (1) 第 1 号議案
    - 1)平成 28 年度事業報告並びに平成 28 年度貸借対照表、損益計算書、財産目録の承認を求める件
    - 2)平成 28 年度監査報告
  - (2) 第 2 号議案  
平成 29 年度事業計画並びに予算案の承認を求める件
  - (3) 第 3 号議案  
理事・監事選任の件
9. 議長団選出の経過
  - (1) 定款に定めた定足数の出席があったことを司会者 水田宗達氏が報告した後、議長・副議長の選出につき一同に諮ったところ、フロアより執行部一任の提案がなされ、議長・副議長が選任された。  
議長：中野克己 氏（埼玉県総合リハビリテーションセンター）  
副議長：神原孝子 氏（埼玉県立小児医療センター）
  - (2) 議長により書記が選任された。  
書記：神原正志 氏（済生会川口総合病院）  
藤本光美 氏（埼玉県立循環器・呼吸器病センター）
10. 議事の詳細
  - (1) 第 1 号議案
    - 1)平成 28 年度事業報告並びに平成 28 年度貸借対照表、損益計算書、財産目録の承認を求める件  
《平成 28 年度事業報告・決算報告》
      - ① 会長（代表理事）より総括が報告された。直接的公益事業、間接的公益事業について計画案通り行われたと報告された。会員 4,300 人を超え、各事業に会員がどのように参加してもらったか考えおこなっている。
      - ② 各理事より各局、部、ブロックの平成 28 年度事業について報告がされた。事務局より、新しい事業として指定管理者研修について、去年から行っている託児室の管理等について報告された。財務局より、税理士との連携により作業の効率化がされていること、未納者数が昨年より改善されたことが報告された。事業局より、高齢者福祉部、小児福祉部、健康増進部、スポーツリハビリテーション推進部が、それぞれ県民向けの啓発活動を行っていることが報告された。

学術局より、1回学術誌出版、賛助会員との共同研究や研究の助成金事業について報告された。教育局より、年2回の認定・専門研修会、4回の新人研修会、2回の臨床実習研修会と臨床実習に関するアンケート調査を行ったと報告された。広報局より、2回広報誌を発行、WEBサイトの作成、Facebookページの開設、理学療法フェスタを開催したことが報告された。職能局より、連盟や他団体との連携作業が行われたことや、医療保険部、介護保険部、地域包括ケア推進部で情報共有のための研修会や会議が行われた事が報告された。東部ブロックより、3つのエリアでそれぞれ研修会、公開講座、交流会が行われた事が報告された。西部ブロックより、研修会、交流会が一度行われ、さらに4つのエリアでそれぞれ研修が行われたことが報告された。南部ブロックより、3つのエリア合わせて研修会21回、交流会8回を実施されたことが報告された。北部ブロックより、会員のスキルアップや会員の連携を主に行っていると報告された。

③ 原副会長より各委員会に関して事業報告がなされた。

財政基盤検討委員会、表彰委員会、組織検討委員会、第25回埼玉県理学療法学会準備委員会、第26回埼玉県理学療法学会準備委員会、ブロック連絡委員会、埼玉県理学療法学会評議員会、訪問リハビリテーション推進振興委員会、選挙管理委員会、がんリハビリテーション推進委員会、災害対策検討委員会、国際スポーツ競技対策委員会について報告があった。

《平成28年度決算》

総会資料に基づき、財務局長より平成28年度の決算として収入および支出の報告がされた。貸借対照表について、4,417,644円が増収となり、平成28年度繰越金は16,374,325円と報告された。経常収益において受取入会金、受取会費、理学療法士協会補助金、雑収入について説明された。また、経常費用について説明された。事業費は、いくつかの事業において赤字決算となっているが、各部局の予算の残金を使用することで全体としては残金がある状態と説明された。正味財産期末残高は28,907,514円。また財産目録についても説明された。

2)平成28年度監査報告

議長が本件に関し、監事に説明報告を求め、田尻和之氏より平成28年度監査結果が報告された。決算報告書、帳票等について監査の結果、財産は適切に管理・運営されていると認める。事業はおおむね順調に執行されていた。考察についても報告された。未納については改善されていたが、さらなる回収の努力を要望。決算報告書の作成に当たっては、会計システムによって効率化されたが、さらなる改善を要望。予算と決算額の差が大きい事業については適切な予算額とすることを要望。多くの事業が行われている事は評価できるが、このままでは会が疲弊しかねないことが危惧される。各部局が事業を見つめなおし、会員が参加しやすい組織であることを望む。当会への加入率向上についてもさらに検討されたいと述べられた。

《第1号議案についての質疑応答》

- ① 会員より、介護予防事業・ボランティア養成講座等のモデル事業について、会計報告のどこを見ればいいのかと質問あり。会長（代表理事）と職能局長より、職能局が行っている事業は資料通り、市町村で行われ、委託で行っている事業は反映していない。前年度分が6月に士会に入り、各事業所もしくは個人にお金を支払われる流れになっていると返答された。
- ② 会員より、臨床実習のパワーハラスメントに関して県士会では対策を行うかどうかについて質問。会長より、現在はないが、今後の検討の必要性はあると返答された。また研修センターの構想はあるかとの質問。会長（代表理事）より、議論はあるが先には進んでいないと返答がされた。

## 第1号議案

- 1) 平成28年度事業報告並びに平成28年度貸借対照表、損益計算書、財産目録の承認を求める件
- 2) 平成28年度監査報告

に関して挙手にて承認の是非を諮り、過半数（4,310名中、2,155名）の賛成を得た。議決権行使書を含めた出席者3,078名の賛成が得られたため定款第19条1項に基づき総会員数の過半数の賛成を得たため、第1号議案は可決承認された。

## (2) 第2号議案

平成29年度事業計画並びに予算案の承認を求める件

- ① 総会資料に基づき、会長より各局、部、ブロック、委員会の事業計画案の説明がなされた。事務室には、事務員が1,5名常駐している。事務局・財務局は会を支える土台として運営している。事業局・広報局は直接的な公益事業。学術局、教育局は間接的な公益事業。職能局は、直接的・間接的な公益事業どちらにも関わる。各ブロックではより近隣会員・住民の顔の見える事業を行っている。委員会は会全体に関わる事業を担当する。
- ② 総会資料の基づき、財務局長より平成29年度予算案について説明がなされた。収入において正会員会費、賛助会員会費、入会金は理学療法士協会補助金に変更されたこと、事業収入、雑収入について説明された。平成28年度決算報告の承認に伴い、前年度繰越収支差額金が、16,374,325円、収入合計69,614,325円に変更されたことが報告された。また支出において、事業費の訪問リハビリテーション研修会費は生活期リハビリテーション研修会費に名称が変更されたこと、ケアマネジメント研修会費は生活期リハビリテーション研修会に事業統合されたことが説明された。障害者スポーツ活動費は、「彩の国ふれあいピック」が年1回から2回になることで増額。埼玉県がんリハビリテーション研修会費は啓発事業が追加され増額。インターネット作成管理費は新規データ管理システムが導入されるため増額。広報誌発行費は、写真撮影などの委託するために増額。地域リハビリテーションマップ調査・作成費については会議が多く行われる為増額。国際スポーツ競技技術研修会費は3回の研修会が新規事業になり増額。協会指定管理者研修会費は回数増加に伴い増額。埼玉県理学療法学会費はメイン会場変更やスタッフ増員に伴い増額。診療・介護報酬に関する研修会費は新規事業と報告。地域包括ケアシステムに関する活動費は対応強化の為、増額。また、管理費について説明された。予備費は12,859,325円、当期支出合計69,614,325円、当期収支差額-16,374,325円、次期繰越収支差額0円への変更が報告された。

## 《第2号議案に関する質疑応答》

- ① 会員より、政治検討委員会を作ってほしいと意見があった。会長（代表理事）より検討すると返答があった。
- ② 会員より、指定管理者研修部についての説明が求められた。事務局長より説明がされた。指定管理者研修を各都道府県で行うよう通達されている。領域別に各2回研修会を開催する予定と説明。指定管理者などの資格が設定されていて、制限、質の担保がされているが、入りにくさを感じる。資格を取ったメリットをもっと具体的に進めてほしい。また、代表者会議と称されているものも研修会の内容で、情報提供で終わっているのでは、会議として戦略を考える場としても使った方がいいのではと意見があった。

## 第2号議案

平成29年度事業計画並びに予算案の承認を求める件

に関して挙手にて承認の是非を諮り、過半数（4,310名中、2,155名）の賛成を得た。議決権行使書を含めた出席者 3,708名の賛成が得られたため定款第19条1項に基づき総会員数の過半数の賛成を得たため、第2号議案は可決承認された。

### (3) 第3号議案

理事・監事選任の件

に関して、工藤選挙管理委員長より説明がなされた。役員選挙理事13名と監事1名の立候補と、理事会より監事1名と理事2名の推薦があったことが報告された。また、定款第22条の規定による立候補者、推薦者はいずれも定数内であり全員無投票当選となることが報告された。新役員の候補者は以下の通りである。

<会長（代表理事）>

南本 浩之（春日部厚生病院）

<理事>

田口 孝行（埼玉県立大学）

細井 俊希（埼玉医科大学）

矢野 秀典（目白大学）

水田 宗達（埼玉県総合リハビリテーションセンター）

須藤 京子（新みさと訪問看護ステーション）

渡邊 雅恵（さいたま市立病院）

阿久澤 直樹（川越リハビリテーション病院）

岡持 利亘（霞ヶ関南病院）

瀧上 晃弘（介護老人保健施設三郷ケアセンター）

杉浦 恵介（圏央所沢病院）

高宮 尚之（川久保病院）

大沼 貴広（東松山医師会病院）

本宮 光信（川越リハビリテーション病院）

原田 慎一（リハビリテーション天草病院）

<監事>

清宮 清美（埼玉県総合リハビリテーションセンター）

前園 徹（上尾中央医科グループ協議会）

第3号議案 理事・監事選任の件に関して候補者ごとに挙手にて承認の是非を諮り、全ての候補者について出席した総正会員及び総名誉会員の過半数（4,310名中、2,155名）の賛成を得たため、定款第19条3項に基づき第3号議案は可決承認された。

~~一時、総会を中断し、新執行部は定款第23条3項に基づき臨時理事会を開催し、平成29年度の新組織について検討された。新会長は南本浩之氏が就任することが報告された。南本新会長（代表理事）より新組織が紹介され、新副会長には岡持氏、細井氏、水田氏、渡邊氏の4名が就任することが報告された。~~

~~中断中、埼玉県理学療法連盟一原嶋会長より、事業説明があった。~~

### (4) その他

① 質疑・意見なし。

② 細井教育局長より、生涯学習システムの変更について説明があった。

以上をもって、議長は本会議のすべての議案が終了した旨を告げ、書記・議長・副議長を解任した。

11. 閉会の辞：原和彦

本会議の議事内容を明確にするために本会議事録を作成し、本会議の内容を証明するため議長および代表理事は、以下に署名捺印を行う。

以上

平成 29 年 6 月 18 日

公益社団法人 埼玉県理学療法士会 平成 29 年度定時総会

議長 中野 克己 

代表理事 清宮 清美 